



TSUNAGU

- 小から中への滑らかな接続にむけて -

令和8年1月23日

我孫子市小中一貫教育だより
第407号

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなきちさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子どもも
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子どもも
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子どもも



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

小中一貫オリジナルカリキュラム授業実践の様子を紹介するうな～！

湖北台 未来につなぐプロジェクト～東小・5年 「SDGsについて発表準備をしよう」

湖北台東小学校5年生がオリジナルカリキュラムの一環でSDGsの学習を実施しました。授業の初めに、Kahoot!を活用して前時までの復習を行い児童たちは楽しみながら解答しました。エシカル消費、フェアトレード、フードマイレージなど先生の解説をよく聞いて「そっか!」「そうだった!」「やった!あってた。」と思い思いに発言しました。



教室がSDGsに関するキーワードで温まったところでいよいよ本題です。テーマごとにグループに分かれて発表に向けた資料の準備が始まりました。各々にタブレットを持ち寄って話し合いやすい隊形になります。『ごみの分別と買い物の仕方』について調べているグループでは、冷蔵庫の中の食品を使い切るために、余りやすい食材や調味料を調査し20種類のレシピを考案しました。グループではどうやってこのレシピを知ってもらうか広報の仕方について議論していました。『エコサッカーボールの作り方』について調べているグループは、いらなくなつた服や新聞紙、ビニールテープで作るオリジナルのサッカーボールを紹介するために作り方のシートを準備していました。また、『ごみの分別』について調べているグループでは、実際に家庭で調査したごみの量とその内容をもとにグラフを作成し、実際には多くの家庭で分別できていないというが分かったことをまとめました。「この結果をもとにリサイクルを促したいです。」とグループの児童は話してくれました。他のSDGsに関するテーマも興味深いものばかりでした。

来月、湖北台西小学校の5年生と相互発表会を行うことになっています。互いに調べた環境問題に関する発表し交流をするそうです。授業の中でも、聞き手を意識して資料を作成することが先生から伝えられており、児童たちはよりよい発表をしようと目的をもって一人一人が主体的に学習に向かっていました。

つながる・広がる・支え合う～根戸小・並木小・久寺家中・特別支援学級「ボッチャ交流会」

久寺家中区のオリジナルカリキュラム「つながる・広がる・支え合う～やさしい街久寺家」のスローガンのもと根戸小・並木小・久寺家中合同の「ボッチャ交流会」が根戸小学校の体育館で実施されました。この交流会は、小中の職員だけでなく、社会福祉協議会・我孫子スポーツ推進委員・中央学院高校生徒の協力を得て実現されました。体育館には大人から子どもまで延べ80名ほどが集まり和気あいあいとボッチャ競技が行われました。

交流をメインとしたボッチャ競技会で、各グループの高校生リーダーを筆頭に中学生と小学生が一緒に作戦を考えて試合を進めました。投球が上手くいくと一緒に喜び合い、失敗したときは励ましの言葉をかけるなど、時間の経過とともに打ち解け合う様子が見て取れました。児童生徒からの感想にも「はじめは緊張したけど、初対面同士でも話すことができるようになりました。」「みんな優しくて楽しかったです。」「チームで協力したし、自分もチームに貢献できてよかったです。」とこの交流会を機会に小小・小中の新たなつながりが生まれ、高校生がこの会に一役買ってくれたことが分かります。異校種交流に地域の方々のお力も借りて実現したこの交流会はまさに久寺家中区のオリジナルカリキュラム「つながる・広がる・支え合う～やさしい街久寺家」そのものでした。

